

練馬区立リサイクルセンター

ゆずりは vol.79

DEC.2025
JAN.2026

ねりま 環境・リサイクル情報誌 発行年月：令和7年(2025年)11月
発行所：練馬区立リサイクルセンター、アクティオ・練馬リサイクル共同事業体
練馬区立リサイクルセンターホームページ[https://www.nerima-rc.jp/]



Before



傘♥大変身

After



ECO BAG COLLECTION ♥

講座に参加した皆さまの作品です！お気に入りの傘が素敵なエコバッグに生まれ変わります！
パパのシンプルな無地のブラック傘も紐の組み合わせ方でビビッドに大変身。
花柄はもちろん、ドットやチェック、ストライプ…お気に入りのエコバッグになること間違いなしです！



春日町リサイクルセンターのロングヒット講座 傘の生地を「軽量+耐久性+防水性」に着目！

春日町リサイクルセンターに「古傘のリメイク講座」が登場したのは、開館当時のこと。あるボランティア講師が、骨が曲がりたり折れたりして使えなくなった傘や古くなった傘の生地部分を活用して、自転車カバーやレインポンチョなどのリメイク講座を企画したのがきっかけです。

傘の生地は、防水性はもちろん、軽量で耐久性にも優れているとても便利な素材です。壊れたから、古くなったからといって、そのまま捨ててしまうのはもったいない！ましてや、お気に入りの柄やブランドの傘だったならなおさらです。大切に使用してきた愛着とともに、リメイクで大変身させたい！そんな思いで作った数多くの試作品の中に、傘の生地を袋状にして持ち手を付けたシンプルなエコバッグもありました。

地域の「ノーレジ袋運動」のきっかけに！ 愛用の傘の生地で唯一無二のエコバッグ作り

このエコバッグが、地域の「ノーレジ袋運動」につながっていききました。春日町リサイクルセンターは、近隣のスーパーやコンビニと連携し、アンケート回答と引き換えにエコバッグをプレゼントするというキャンペーンを展開。当時はまだエコバッグを持ち歩くことは一般的ではなかったのですが、この小さな地域活動は大きな話題となり、新聞記事にも取り上げられました。同時に「古傘のリメイク講座」も人気を集め、「使う頻度が高いものだからこそ、納得のいくものを」という声に支えられ、現在に至るも満員御礼が続いています。

今回はぐるーぶ・工房のメンバーが企画した「古傘のリメイク講座」の中から、「半月型のエコバッグ」をご紹介します。使い勝手抜群！愛用していた傘の生地で作る唯一無二のエコバッグ作りをお楽しみください。

私たちが講師を務めます！



ぐるーぶ・工房のメンバーの皆さん

春日町リサイクルセンター

コロンとしたフォルムが魅力の「半月型のエコバッグ」

「古傘のリメイク講座」はデザインも機能面も改良を重ね、進化を遂げ続けています。「半月型のエコバッグ」は、生地を余すことなく利用。市販品に負けないクオリティが自慢の自信作です。

■材料



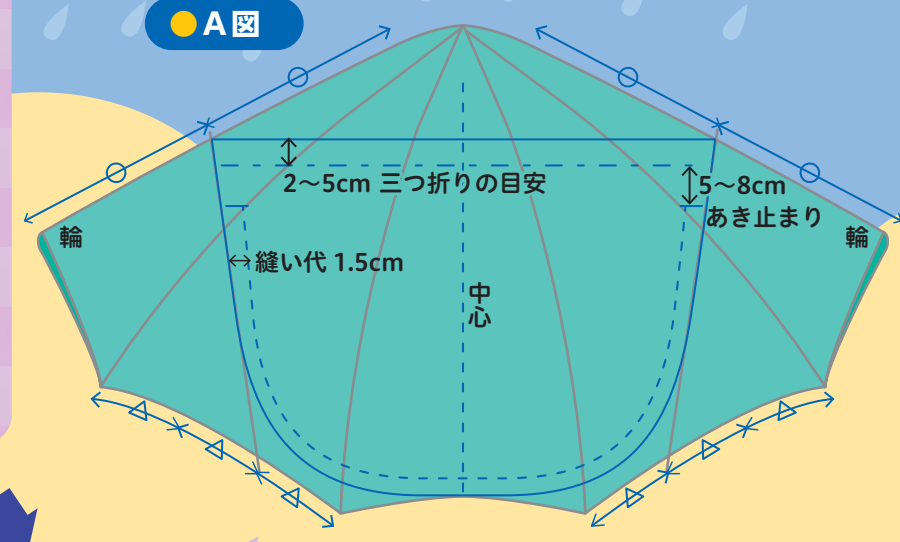
- ・8枚つなぎの傘 1本
- ・持ち手用の中芯 約60cm×2本
- ・紐 約100cm×2本

■作り方

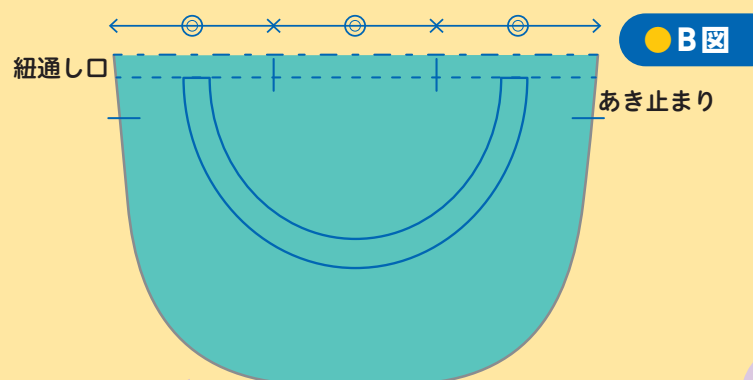


- 1 傘の骨から生地を外す。

●A図



●B図



- 5 B図を参考に、紐通し口を三つ折りにして、③の持ち手を挟んでミシンをかける。
- 6 紐通し口に紐を通す。

完成！



講座 INFORMATION ★先取り情報★

2026 年度も「古傘のリメイク講座」開催決定！

ぐるーぶ・工房のメンバーが企画した「古傘のリメイク講座」には、「半月型のエコバッグ」の他にもさまざまなバリエーションがあります。「今回は抽選に漏れてしまって…」[こういうバッグが作れたかった！]など、皆さまのご要望にお応えて、来年度も過去に開催し好評だった右の講座の中から実施します。いつ、どの作品になるかは、来年度のお楽しみ。ゆずりは講座欄に掲載される「古傘のリメイク講座」のご案内をお見逃しなく！

古傘布で作る自転車の後ろカゴカバー



古傘布で作る便利バッグ



古傘布で作る2way バッグ



古傘布で作る変りエコバッグ



エコバッグとしてもリュックとしても使えます

表と裏で別々の柄を楽しめるリバーシブルタイプ

ピザ、寿司、刺身など四角い容器専用！

古傘布でリバーシブルのエコバッグ

講座 INFORMATION

他のリサイクルセンターでも次々開催！

関町リサイクルセンター

プラスチックを知ろう
傘から生まれた収納できるエコバッグ

12月12日(金) 10:00～12:30

プラスチックの特徴を学びながら、傘のバンドを使ってコンパクトに収納できるエコバッグを作ります。長傘でも折りたたみ傘でもOK。持ち手は2つの傘を使ってツートンカラーにしたり、綿テープを使っても！ミシンの基本操作ができる方対象。
※詳細は裏面講座欄をご確認ください。



大泉リサイクルセンター

傘から変身エコバッグ

2026年2月23日(月・祝) 13:00～15:30
来年2026年2月に開催予定の講座です。こちらのエコバッグも傘のベルトを使ってコンパクトに収納できるタイプ。シンプルで機能性を重視したデザインが特徴です。
※詳細は次号 vol.80 の講座欄をご確認ください。



インターネット受付が便利です 粗大ごみの申込みはお早めに！

年末は粗大ごみの申込みが集中します。粗大ごみを出す場合は、お早めに粗大ごみ受付センターへ電話、またはインターネットでお申込みください。「練馬区資源・ごみ分別アプリ」からも簡単に手続きできます。

練馬区資源・ごみ分別アプリ



「夏季インターンシップ」を実施 企画講座が子どもたちに大好評！

次世代を担う若者に現状の環境問題を認識してもらい、将来に向けてその問題解決に高い関心を持ってもらうために、8月21日(木)～9月20日(土)の12日間、「夏季インターンシップ」を行いました。

大学生は「将来、もの作りの仕事に関わったとき、環境汚染を引き起こすことがないよう学びたい」と高い意欲を持って参加。リサイクルセンターの企画業務体験、環境関連施設見学などを経て、「紙パックを使ったメッセージボックス作り」講座を企画し、最終日にこどもクラブで発表しました。紙パックリサイクルO×Kイズなど、工夫を凝らした内容に子どもたちも大喜び。大学生にとっても、環境問題やリサイクル活動の現状など多くの学びを得ることができ、貴重な経験となりました。

「環境に優しい情報」がいっぱい！ 練馬区立リサイクルセンターのSNS

「動画で学ぶ環境講座」「家具・食器小物の販売、様々な資源回収などの事業」「イベント情報」など、リサイクルセンターのSNSでは、「環境に優しい情報」をいっぱい発信しています！以下のQRコードから「フォロー」や「登録」をして、環境情報を受け取ってください！



12月は地球温暖化防止月間！ 身近なことから地球温暖化対策にチャレンジ

地球温暖化の原因とされる温室効果ガス。世界気象機関(WMO)は10月、大気中の主要な温室効果ガス(二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素)の濃度は引き続き増加しており、2024年の二酸化炭素の年増加量は観測史上最大となったと発表しました。
地球温暖化は世界的な課題ですが、私たち一人ひとりの意識や行動変容が重要になります。そこで今回は、寒い時期にもってこいの「ウォームビズ」の取り組みを紹介します。

- 首、手首、足首の「3つの首」をあたためましょう**
「ウォームビズ」のポイントには、「衣」「食」「住」をひと工夫することで、暖房に必要なエネルギー消費量を抑え、二酸化炭素の発生を削減し、地球温暖化の防止につなげることで。過度な暖房に頼らず、冬を快適に過ごすライフスタイルを心がけましょう！
- 「鍋」で体も室内もあたためましょう**
鍋は、体も室内もあたためて暖房も緩和できます。食材選びは「地産地消」を心がけることで、流通に係る二酸化炭素の排出も削減できます。
- 窓やドアなどからあたたかい空気が逃げない工夫をしましょう**
冬、家全体のあたたかい空気の約50%は窓から流出してしまいます。断熱シート、厚手のカーテンなどで窓から熱を逃がさない工夫をしましょう。
※あたたかい空気は上に溜まります。扇風機等で空気を循環させましょう。

環境省エコ活ウェブサイトを参考に作成

